

2 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
22	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔126にも掲載しています。〕	拡充		受診者数 受診率	受診者数3,292人・受診率96%	平成15年10月から試行開始。(平成19年4月から本格実施の予定。)平成19年3月からは健診未受診者へも保健師が「えほんはじめまして」の資料配布を行っている。資料の配布は受診者全員にできているが、なるべく多くの受診者へ声かけをして、赤ちゃんと絵本を読む楽しさを伝えるよう工夫していく。	市立図書館健康づくり推進課 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会
23	乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」	就学前の子どもと保護者を対象に、おはなし会を子育て支援センターで定期的に行う。	拡充		実施回数	97回 2センター	年齢の幅が広く配慮が必要だが絵本や紙芝居に出会う機会になっている。「ほっとタイム」を楽しみに来る人が増えてきている。年齢幅の配慮や参加人数が多くなるよう工夫していく。	子育て支援センター
24	遊び提供の場での取り組み	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊び提供の場での読書活動(絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等)を推進する。	拡充		実施回数	190回 5センター	子育てサロン、サークル、公園等の遊び場で絵本の読み聞かせや新しい絵本の紹介を行っている。絵本を通して親子が向き合う機会の一つとして絵本に親しみきっかけづくりにしてもらう。毎回新しい絵本でなく繰り返しの大切さも感じてもらう。	子育て支援センター
アンケートは、サロン主催者がとっている。「サロンで出会った絵本を家でも読むようになった。」								
25	絵本講座の開催	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。	拡充		保護者向け講座実施回数	13回 5センター	絵本講座は好評で次回開催の期待を寄せられている。絵本離れしている現状をふまえて絵本の大切さを伝えていきたい。	子育て支援センター 市立図書館
絵本の選び方を教えてもらい、とっても参考になったと感想があった。								
26	「子育て総合支援事業」	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園(7園)実施	拡充		実施回数 参加者人数	子育て・子育て支援講座5回 242人 育児相談・就学前相談5回 42人	絵本の楽しみ方や子育てのヒント等をおりませた講座で好評だが、乳幼児同伴の参加形態なので、講座に集中できる工夫も必要である。	幼児教育支援センターたんぼぼ
「本の世界が広がった」「絵本の見方が変わった」								

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部 局・団体
						実績	実施状況と課題	
27	「たんぼぼ ひろば」	就学前の親子を対象に月2回または週1回遊びの提供の中で、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアター等を行うとともに、図書館、子ども文庫、関係機関を紹介する。また、地域の子ども文庫やボランティアの協力を得ておはなし会を実施する。 全市立幼稚園(7園)実施	拡充		実施回数 参加者人数	148回 5,622人	放課後に実施しているため、未就園児より園児の参加が多かった。参加者の年齢幅が広く選書が難しい。	幼児教育 支援セン ターたん ぼぼ
28	「たんぼぼ 倶楽部」	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。	拡充		実施回数 参加者人数	24回 95人	事業の中で、エプロンシアター・パネルシアター・絵本の読み聞かせなどを行う。対象年齢が広いので読みかきの工夫も課題である。	幼児教育 支援セン ターたん ぼぼ
29	「親子の学 び場」講座	毎月1回(土曜日)「親子の学び場」講座を実施する。その中で、読み聞かせや子どもと本に関する講座を行う。	継続		実施回数 参加者人数	2回 170人	多彩なジャンルの内容を提供しているが、「お話、絵本」などの講座は参加者が比較的少ない。より関心がもてるような工夫が課題である。	幼児教育 支援セン ターたん ぼぼ
30	絵本等の貸 出	幼児教育支援センターたんぼぼに図書スペースを新設し、「親子の学び場づくり」(たんぼぼひろば)の参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。	新規		貸出冊数	318冊	乳幼児向け図書が772冊、大人向け図書が20冊で合計792冊の蔵書があるが、周知度が低く、利用者の大半はたんぼぼ倶楽部やフリースペースの参加者である。	幼児教育 支援セン ターたん ぼぼ
31	情報相談 (レファレン スサービス)	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。	継続				これまでと同様に、情報相談事業で子育てに関する相談を受けた折に、情報提供のツールとして、絵本やブックガイドを紹介したり、情報ライブラリーで作成したブックリストの提供を今後も行う。	すてっぴ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部 局・団体
						実績	実施状況と課題	
32	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う。	新規				平成19年度実施予定。 講座「おとうさんといっしょ」でブックリストを作成・配布する予定。今後はより広い配布の機会と、子どもの読書や読み聞かせに関心をもつ男性が参加しやすくなる環境づくりを検討したい。	すてっぷ 市立図書館
33	子育てグループ活動への支援	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。	拡充				各グループから依頼があれば情報提供を行っている。今後の課題として検討中。	公民館
34	講座の開催	読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	新規				どのような発信ができるのか、予算を含め講座の内容を検討する。(平成20年度以降で実施を検討中)	すてっぷ
35	保護者向け講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	拡充		参加人数	36人	絵本のお話に沿って、音楽に合わせた歌や踊りを親子で行う「歌って・踊って・遊ぼう」を中央公民館で実施。	公民館 公民分館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
36	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続				夏休みに小学生のためのおはなし会を実施する。(平成19年度実施予定)	すてっぷ
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		回数参加人数	11回、104人	毎月1回、岡町図書館職員によるおはなし会を実施。室内だけでなく、公園などを使うことにより、興味を持つ機会が増えるのではないかと。小学生は学年が上がるごとに、お話しへの好き嫌いがはっきりし、興味が薄くなる子もいる。話しの中に引き込まれるような、読み手側の工夫や、おはなしを楽しめるような雰囲気づくりについても考慮する必要がある。	豊中人権まちづくりセンター
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		回数参加人数	88回、1,042人	毎週水曜日と金曜日の午後3時から1時間「たのしいつどい」という取り組みを行っている。その中で本の読み聞かせや工作を実施し、子どもが本と出会う機会を提供している。	庄内少年文化館
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		実施回数参加人数	毎月1回22児童会、2ヶ月に1回3児童会、学期ごとに1回2児童会、不定期に2児童会	留守家庭児童会に定期的に「おはなしボランティアポケット」などによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。41児童会中29児童会で実施している。子どもへの読み聞かせは大切と考えて、指導者や子どもたちが読み聞かせを行っている所もある。また、おはなし会を実施していない児童会でも今後実施を検討しているところもある。	子育て支援課
(岡町図書館のアンケートより)子どもたちが楽しみで静かに聞いている。季節感のあるものや大型紙芝居など子どもたちが興味を持つものを取り入れてもらっている。地域の人とのつながりもでき、良いことだと思う。後半騒がしく聞いている子どももいる。								
37	図書リストの配布や子どもへの学習相談	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校司書や教員を通してのレファレンスに応じる。	継続		作成回数リスト掲載延べ冊数 図書館・小中学校等配布枚数	5回、180冊、1,000枚	小中学生向けに男女共同参画や自己尊重を育む本を充実させ、図書リストの作成と配布を検討する。平成18年度はテーマ展示の図書リストや夏休みおすすめブックリストの作成・配布をおこなった。	すてっぷ 小・中学校関係施設

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
38	「たんぼぼ通信」	年4回発行の「たんぼぼ通信」の中で、毎回絵本の紹介を掲載し、絵本に関する特集記事や図書館、子ども文庫に関する情報を掲載する。現在市内公私立幼稚園・関連諸機関で配布。	拡充		発行部数 発行回数	10,000部/回 4回	たんぼぼの蔵書の中より、季節に応じた絵本を選び、紙面で紹介する。その他、公私立幼稚園の紹介や事業紹介をして読者に情報提供をする。	幼児教育支援センターたんぼぼ
	「たんぼぼ通信の記事が絵本選びの参考になる」							
39	子育て教室	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。	拡充				講座を企画する中で、子どもの読書の大切さを知る講座を企画したが、調整がつかなかったため、未実施。今後実施を検討していきたい。	公民館

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
40	絵本コーナーの設置	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。	新規		設置箇所冊数	2か所 116冊 設置	保健センター、千里保健師駐在所に設置。窓口や事業等に来所する親子に活用してもらう予定。	健康づくり推進課 市立図書館
41	絵本コーナーの充実	絵本コーナーの充実、貸出し等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境づくりをする。	継続		絵本の取り替え回数	10回	季節にあわせた絵本を入れ替える。図書館に絵本の借出し依頼をする。子どもが取り出しやすいように配置の工夫をしている。	子育て支援センター
42	絵本コーナーの設置	地域支援保育士が配置されている施設において、絵本コーナーを新たに設置する。	新規				地域支援保育士の活動のなかで、保育所に設置されている絵本コーナーの絵本を活用して、読み聞かせを行っている。場所の確保などの課題はあるものの、地域支援のための絵本コーナーを設置することが望ましい。	子育て支援センター
43	読書環境の充実	すてっぷのキッズコーナーやプレイルーム、情報ライブラリーの絵本を充実し、子どもが身近に絵本と親しむことができるようにする。	新規		おはなし会実施回数 参加延べ人数	12回、 379人	平成18年度より情報ライブラリー内のおはなし会に加え、6階キッズコーナーでのおはなし会を月1回実施し、絵本とふれあう機会づくりに努めた。(参考:5階ライブラリーおはなし会実施回数 12回、参加延べ人数 486人)5階のライブラリーでは、夏休み期間になつたえほんを集めて夏休みおすすめブックリストともに展示した。	すてっぷ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部 局・団体
						実績	実施状況と課題	
44	絵本コーナーの充実	公民館のロビーや保育室にある絵本・紙芝居コーナーを充実する。	拡充					公民館
45	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充		館利用人数	61,086人	豊中人権まちづくりセンター内にコーナー、資料室、図書室を開設し、来館者が自由に利用でき、一部貸出も行なっている。児童館図書室では就学前から小・中学生が利用。講座や学習クラブでも活用し、必要性に応じた内容の物の収集充実を図る。また、本の使い方を通して、物を大切にすることも経験していきたいと考える。	豊中人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充		館利用人数 貸出人数	61,086人 ビデオ貸出3,886人、CD貸出106人、図書貸出168人	蛭池人権まちづくりセンター内に図書室を開設、館利用者へ閲覧、貸出を行っている。また、センターに事業参加している子どもたちも利用している。利用者のニーズに合わせ、就学前の子どもやその保護者に合った資料の充実をはかっている。	蛭池人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充	実施期間	夏休み		夏休みに子ども向けの情報相談として夏休み学習相談を今後も継続して実施する。	すてっぷ
					書棚1台		平成18年度児童書コーナーに書棚を増設し本の充実に努めた。	
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	拡充		貸出人数 貸出冊数	3,012人、 7,297冊	市民にも図書の貸出しを行っている。館内の資料をもとに製作した作品なども掲示し、本への興味を持ってもらえるよう工夫している。	庄内少年文化館
図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔155をご参照ください。〕	拡充		貸出校数 貸出冊数	32校、 11,028冊	留守家庭児童会では資料の購入や、市立図書館からの団体貸出を利用して、子どもたちの身近な場所に本のある環境を整備している。	子育て支援課	
46	図書コーナーの充実	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	拡充		児童書購入冊数	146冊	小中学生向けに男女共同参画や自己尊重を育む本を充実させ、図書リストの作成と配布を検討する。平成18年度も前年度同様に資料を購入した。今後も継続してリストや展示等で関連機関や利用者にお知らせする。	すてっぷ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
47	見学・交流会	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の見学を行う。	拡充				市立図書館から小中学校図書館や保育所、各施設の見学は行事の折に実施している。平成18年度は市内の高校へも図書館PRのポスター配布の折に学校図書館の見学を実施した。私立幼稚園の見学など実施できていない施設も多い。各施設の図書コーナーの現状は様々であり、それぞれの施設に応じた支援を図書館が提供していくことが課題。また各施設間での相互の見学など課題が残る。	関係施設
48	本のある居場所づくり	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。	継続				青年の家いぶきの1階ロビーを開放し、いぶき図書室から図書を借りてきて、学習したり、くつろいで読書ができるようにしている。各市立図書館でも規模はそれほど広くはないが、椅子や机などレイアウトに工夫してスペースを設けるよう取り組んでいる。	青少年課 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
49	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居等を行うボランティア活動を育成・支援する。	拡充		回数	18回	月1回“えくぼの会”としてプレイルームで実施。絵本にであう機会にしている。ボランティアグループ“おたすけクラブGOO”が近隣の子育てサロンなどへ出かけてお話をしている。会場などの場所提供や内容等も共に考え計画する。	子育て支援センター
50	出前おはなし会	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぱの自主グループが読み聞かせを実施する。	新規				平成20年度以降に受入れ先や仲介機関との連携などをふくめて実施を検討中。	すてっぱ
51	研修の機会の提供	自主グループの活動を支援するため学習の機会を提供する。	新規		回数 参加延べ人数	2回・23人	平成18年度おはなし会サポートグループ「とっこ」で自主研修を2回実施した。1回目：ペーパー作り、2回目：てあそびの研修と読み聞かせの練習	すてっぱ
52	情報の提供	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。	拡充				今後実施するように努めたい。	公民館

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
53	職員研修	読書活動における居宅(在宅)親子の現状や課題等についてセンター間で情報を共有し、互いの事業点検を行う。また各センターが実施する保護者向け講座に、他センターの職員も参加し意識を高める。	拡充		保護者向け講座実施回数	8回	赤ちゃんサークルびよびよ(7ヶ月まで)コアラちゃん(1才~1才6ヶ月)の年齢別サークルの中で市立図書館の職員による保護者向けの講座を行った。子どもと同室だったので子どもに読み聞かせがあったりと有効な取り組みになっている。同室保育をする中で講師とのやりとりや親の反応など身近に感じられるので職員研修のひとつにしている。	子育て支援センター
54	職員研修	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中での読書の大切さを理解するための研修を行う。(164をご参照ください。)	拡充		研修回数参加人数	ボランティア講座11回・フォーアップ研修講座2回・子どもと本のつどい3回実施。	講座や行事の際には、図書館職員が研修も兼ねて参加している。平成18年度は子どもと本のつどい「すべての子どもの言葉の喜びを」「10代と本×人をつなぐ」を図書館で実施し、図書館職員や学校司書が参加した。また教員への読み聞かせ講座を1回実施した。行事の案内、職員の参加の呼びかけを関係施設にもさらに広げることが課題。平成19年度は私立幼稚園教員対象の研修を予定している。	市立図書館職員研修所 関係施設
55	指導員研修	留守家庭児童会のおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取り組みを行う。	新規		実施回数参加人数	1回、136人	留守家庭児童会指導員研修会の一環として行う。平成18年5月に実施。	子育て支援課 市立図書館
<p>絵本の読み聞かせが、子どもの心の安定や、創造力の成長に大きな影響を与えていることを再確認できた。</p>								